

この人に  
注目!!

フィールドでひとときわ輝くスピードスター

# 五十幡亮汰さん(長野中3年)



**プロフィール** 小学1年生のときに現在の行田東フェニックスで野球を始める。中学入学後も、東京神宮リトルシニアで野球を続けるとともに、学校では陸上部に所属。短距離選手として活躍中。

愛知県で開催された「第40回全日本中学校陸上競技選手権大会」で100m・200mを制し、2冠を達成した五十幡亮汰さん。9月11日に市役所を訪れ、工藤市長に優勝報告を行うとともに、これからの目標などを語りました。

## スタートが勝負!!

**工藤正司市長(以下市長)** 今大会の活躍は本当に素晴らしい。おめでとう。

**五十幡亮汰さん(以下五十幡)** ありがとうございます。まさか、2種目で優勝できるなんて思いませんでした。本当にうれしく思います。

**市長** 100メートル決勝のテレビ放送を私も観ました。準決勝が7位通過だったとは信じられないほど、とにかく速かったですね。

**五十幡** 準決勝は10秒99で、実は自己ベストでした。決勝は、スタートを決めることに集中し、「絶対に勝つ」という強い気持ちで挑みました。優勝できると思っていなかったのので、興奮してしまい、優勝のインタビューもうまく答えられなくて(笑)。

**市長** 200メートルも優勝。自信があったのかな。

**五十幡** 自信はありませんでした。でも、関東大会で2着だったので、絶対にリベンジしようと燃えていました。優勝できて本当によかったです。

**市長** 私も長野中学校の陸上部でした。先輩が活躍している姿を見ると本当にうれしい。学校のみならず、祝福の言葉をたくさん掛けられたでしょう。

**五十幡** はい。しかも、2学期の始業式に100メートルの決勝の録画を全校生徒の前で流してくれました。ちよつと恥ずかしかったです。仲間や先輩が喜んでくれている様子を見たら、やっぱりうれしかったです。

## 陸上と野球の二刀流

**市長** 野球でも活躍していると聞いていますよ。

**五十幡** 東京神宮リトルシニアに所属しています。ポジションはセンターで、打順は1番です。全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップで去年は準優勝でした。今年は準決勝で負けてしまい、悔しい思いをしました。しかし、最高の仲間と野球ができたことは、最高の思い出になりました。

**市長** 陸上で鍛えた足が、野球

でも武器になってきているんだね。陸上と野球の両立は大変だったでしょう。

**五十幡** 両方とも好きなことなので、大変だと思ったことは一度もありません。2つも好きなことをやらせてもらえて、家族には感謝しています。

## これからの目標は…

**市長** 中学3年生。進路を考える時期だね。

**五十幡** はい。自分は、野球の道に進もうと思います。目標は甲子園出場です。

**市長** 壁にぶつかることもあると思うけれど、負けないように頑張ってください。ずっと応援しています。

**五十幡** ありがとうございます。努力することや感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張ります。

## 第40回全日本中学校 陸上競技選手権大会 五十幡亮汰さんの記録

200メートル(決勝)：8月21日  
21秒81で優勝  
※埼玉県新記録  
100メートル(決勝)：8月22日  
10秒92で優勝



100メートル決勝の様子  
一番手前が五十幡さん



①工藤市長に2冠達成の報告を行い、金メダルを見せる五十幡さん ②五十幡さんの功績をたたえ、表彰状が送られました。



生き生きと学んでいます

# 行田市民大学

平成21年4月に開校した行田市民大学は、これまでのような行政が企画し市民が参加するスタイルではなく、市民自らが企画・運営する大学です。これまでに148人が卒業し、現在は96人が現役生として学生生活を満喫しています。同大学では、多くの方が自ら学ぶ意欲に燃え、たくさんの仲間との出会いや交流を楽しんでいます。



市民大学は、多くの市民の皆さんに生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的としています。また、市民のボランティアが企画・運営を担っているため、市民の目線で、市民ニーズに応じたカリキュラムの作成などを行っています。

講義はものづくり大学や立正大学の教授、専門家などを講師に迎え、主に郷土史や環境、福祉などについて学びます。今年度の内容は、行田の歴史や文化財、市民のボランティア活動、まちづくりの他、法律や接客マナーサービスなどについての講義も予定しています。

## 学びの基本目標

- 1 生涯学習と自己啓発による生きがいづくり
- 2 出会い・交流・仲間づくり
- 3 地域社会に役立つ人づくり
- 4 市民と大学や地域との連携づくり

また、講義の他にも視察バスツアーやグループ研究など、共に学ぶ仲間との交流を深められる、行田市民大学ならではの趣向を凝らした計画を設けています。

毎年2月から3月ごろに「市報ぎょうだ」や市民大学のホームページなどで新入生を募集しています。

## 市民大学ホームページやFaceBookも充実

行田市民大学の講義風景や活動状況などを、随時市民大学ホームページやFaceBookに掲載しています。ぜひ、一度ご覧ください。

【市民大学ホームページ】  
<http://www.gyoda-shimindaigaku.net/>



## 生徒の感想



山田 英嗣さん  
(第4期2学年)

市民大学の授業は行田市の歴史を中心に、講師の先生が分かりやすく、楽しく教えてくれます。視察ツアーやグループ活動もあり、たくさんの仲間と共に学ぶことができ本当に楽しいです。

## 運営委員の声



島澤 敬次さん

市民大学は、現在37人の委員により運営されています。豊かな経験と協調性を持って市民大学発展と意識の向上を目指しています。市民大学への参加をお待ちしています。